

ヨーロッパモビリティウィーク 2007

# 実施状況報告

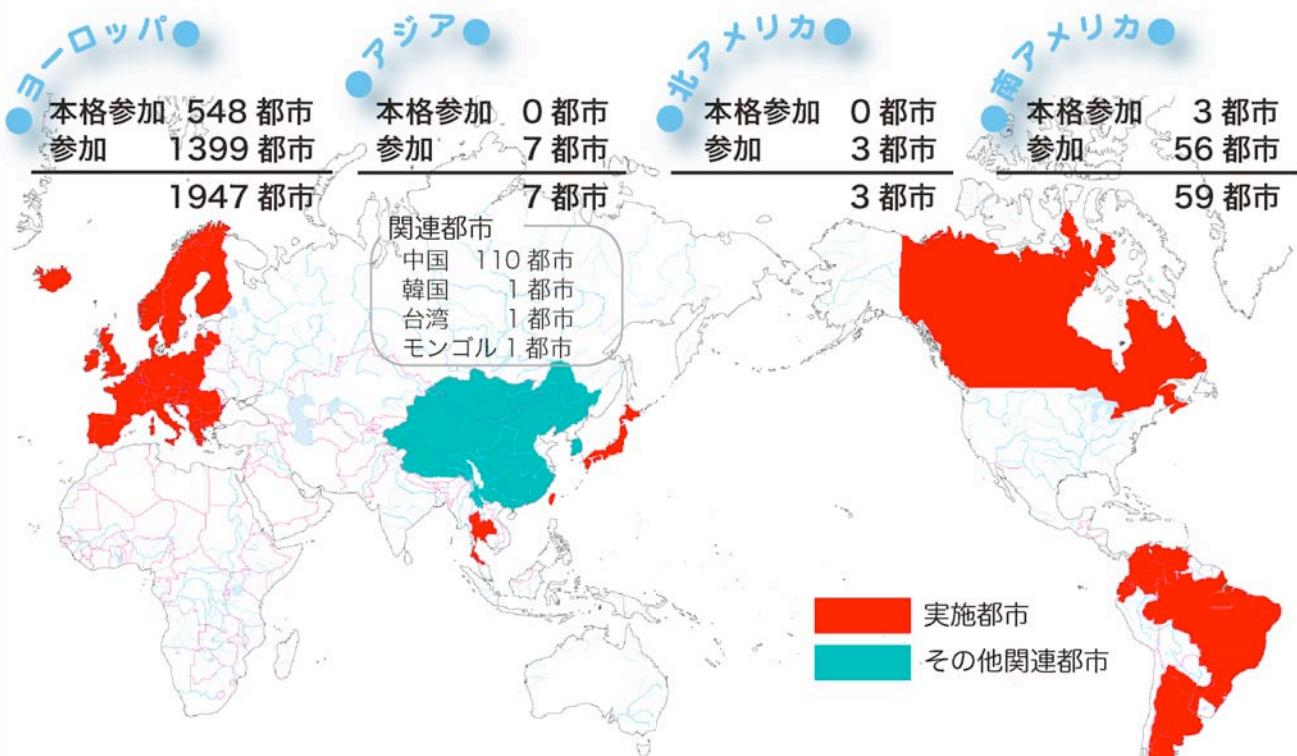
2007年テーマ

「STREETS FOR PEOPLE  
人のための みち空間」

2007年は

**2016都市**が、

ヨーロッパモビリティウィークに参加しました！



仏ナント BUS WAY



仏パリ Vélib' (ベリブ)



韓国ソウル市



中国



In Town Without My Car

【2007年から参加形式が変わりました】

実施ガイドラインの全ての項目を満たした上で参加する都市は「本格参加都市 (Golden Participants)」、それ以外の、実施ガイドラインの内いずれかを満たす都市は「参加都市 (Participants)」と位置づけされることとなりました

車をおいて  
街へ出よう！

# 日本からも6都市が参加しました！

都市名	団体名	参加形式
●さいたま市	さいたまカーフリーデー実行委員会 (市民団体 参加団体数：52 事務局：市)	参加都市 Participants
●横浜市	よこはまカーフリーデー実行委員会 (市民団体 協賛団体数：23 参加団体数：64) 共催：協同組合伊勢佐木町商店街	参加都市 Participants
●松本市	松本市ノーマイカーデー推進市民会議 (市民団体 参加団体数：37 事務局：市)	参加都市 Participants
●名古屋市	なごやカーフリーデー協議会 なごやカーフリーデー実行委員会 (行政 協議会構成団体数：11 協賛団体数：8)	参加都市 Participants
●福井市	このまちと～まれ実行委員会 【カーフリーデーを ROBA の会として実施】 (市民団体 共催：市内の NPO 団体 6) ROBA の会・NPO ふくい路面電車とまちづくりの会	参加都市 Participants
●那覇市	なはカーフリーデー実行委員会 (市+NPO 法人しまづくりネット 協賛団体数：2、協力団体数：2、後援団体数：17)	参加都市 Participants

※ 都市名は日本列島北からの順で表記

2007 年は参加都市が 6 都市に増え、それぞれの地域での活動の広がりにより、日本でもカーフリーデーが徐々に広まりつつあります。この取組が、持続可能な都市交通政策の発展に向けた、市民の意識変革に寄与するような活動としても普及していくために、市民意向等を把握しながら進めたいと思います。

公共交通の利便性が向上した場合、自動車から移動手段を替えようと思いますか？

(自動車利用者のみの回答)



【カーフリーデーアンケート 2007】

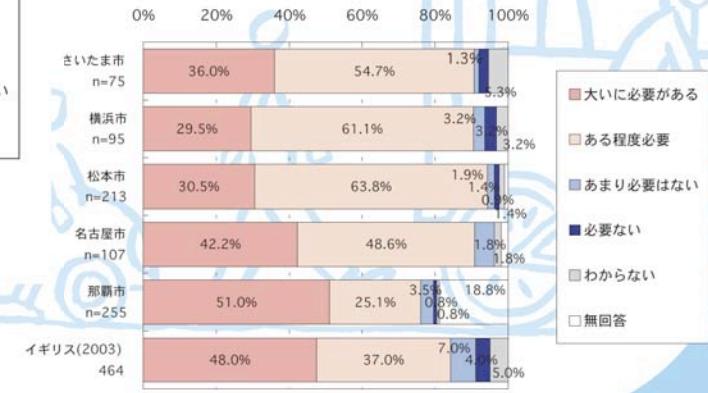
実施都市：上記 6 都市（福井市については、設問内容等が異なるため、集計から除いています）

調査日：各都市カーフリーデーイベント実施日

※その他アンケート結果に関しては、カーフリーデーヤパンまでお問い合わせ下さい

©cfdfjapan

公害や交通量、渋滞を減らすためには、自動車利用を抑制する必要があると思いますか？



# 車を置いて 街へ出よう!

主催：さいたまカーフリーデー実行委員会  
(市民団体主導・行政支援)

今年初めてヨーロッパモビリティウィークに参加しました。昨年までは、市庁舎内でノーマイカーデーの実施を中心に取組を続けていましたが、過度に自動車に依存しない交通体系の構築を目指し、環境にやさしい公共交通や自転車等の利用促進を図るために、さいたま市が中心となり、さいたまカーフリーデー実行委員会を組織しました。地元企業を中心に、52団体が参加しています。

9月22日（土）イベントが開催され、大宮駅西口～鐘塚公園周辺の3箇所の道路で、一般車両通行止めの交通規制が行われました。鐘塚公園では、低公害車の展示やミニ新幹線試乗、展示ブース等各企業による出店が中心となりました。大宮ソニックシティイベント広場では、フリーマーケットやステージ演奏、飲食店の出店等が行われました。



ソニックシティイベント広場の様子



歩行者に開放された道路の様子



イベント広場に掲げられた横断幕  
チラシ提供：さいたまカーフリーデー実行委員会

# 横浜市

主催：よこはまカーフリーデー実行委員会  
(市民団体主導)

よこはまカーフリーデー実行委員会が主体となり、今年で4年目のカーフリーデーを実施しました。市民団体を中心に63の団体が参加し、協賛団体も含めると87の団体が協力した取組となりました。

今年も伊勢佐木商店街が共催し、伊勢佐木モール6丁目では、ベロタクシー乗車コーナー、キリンビール試飲会等、商店街が協力した各種イベントが行われました。日本大通りでは、バス以外の車両通行止めの交通規制を行い、パレード、インラインスケート、各種自転車試乗など、普段とは違う道路空間を楽しみました。

また、横浜公園では、カエッコバザール、舞台演奏、カーシェアリングアピール、スーパー エコカー「Eliica」展示、各種パネル展示等、参加団体による出店をメインにイベントが行われました。



日本大通りでのパレードの様子



伊勢佐木町商店街の様子



横浜公園内のかえっこバザールの様子

チラシ・写真提供 (真中・右)：よこはまカーフリーデー実行委員会

# 車をおいて 街へ出よう!

主催：松本市ノーマイカーデー推進市民会議  
(市民団体主導・行政支援)

今年で4年目の取り組みとなりました。9月16日～23日の1週間にわたり、松本市が事務局となり、地元企業や大学、商工会議所、福祉団体、地元警察などの37の団体で構成された、松本市ノーマイカーデー推進市民会議が主体となり実施しました。

「不都合な真実」の上映をかわきりに、通勤時間帯に信号待ちの自動車にノーマイカーデーについて啓発を行うキャンペーンの実施、ノーマイカーデーの実施、モビリティマネジメントフォーラムの開催など、地球環境、交通問題、福祉、中心市街地活性化など、1週間日替わりで様々なテーマで「クルマ」の使い方を考える催しを行いました。22日のイベントでは、中心市街地内の3カ所の道路、中町通、高砂通、縄手通りで一般車両通行止めの交通規制を行い、歩行者に開放された道路空間で、商店街が主催したイベントやオープニングカフェ、音楽祭などが開催されました。市内循環バス、タウンスニーカーの4路線目の運行開始や、全路線の運賃の無料化(22日のみ)、松本カーフリーデーのテーマソングが発表される等、本当に幅の広い、より多くの人へのキャンペーンとなりました。



松本城公園での音楽祭の様子



歩行者に開放された高砂通の様子



当日はタウンスニーカーが運賃無料に  
写真提供(左・真中)：松本市ノーマイカーデー推進市民会議

主催：なごやカーフリーデー協議会  
(行政主導)

名古屋市主体で、大学や交通事業者、青年会議所より構成される協議会が運営するカーフリーデーも、今年で4年目の実施となりました。メインイベントは9月23日。久屋大通北行き車線を車両通行止めの交通規制をし、約300m程を歩行者に開放しました。

開放された道路空間では、パレードや50mの巨大お絵かき、巨大ボーリングなど、参加者は普段では考えられない都市空間及び街の中での遊びを体験しました。また、9月18～21日には、官庁街への自動車利用の自粛を依頼し、新聞による啓発も行いました。23日当日から募集を始めた、1週間に1回以上車の利用を減らすと宣言する「カーフリー宣言」にも多くの方が署名しました。



歩行者に開放された久屋大通北行き車線



久屋大通で行われた巨大お絵かき



カーフリー宣言の様子

チラシ・写真提供：なごやカーフリーデー協議会

福井市

主催：NPO ふくい路面電車とまちづくりの会  
(市民団体主導)

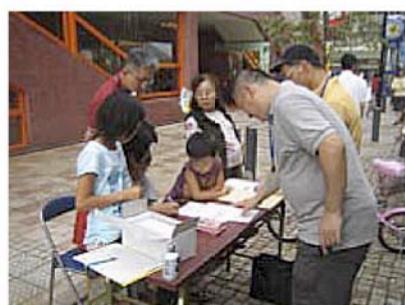
車をおいて  
街へ出よう！

今年初めてヨーロッパモビリティウィークに参加しました。地元 NPO の 6 団体が共催した「このまち と～まれ！」のイベントの一環として、NPO ふくい路面電車とまちづくりの会、通称「ROBA の会」がカーフリーデーイベントを実施しました。クルマ中心のまちから、バスや電車による公共交通ネットワークの再構築を目指して、様々な活動を行っている団体です。

9月23日は、アップルロード、ガレリア元町がその主な舞台となり、一部車両通行止めの交通規制がされ、歩行者に開放された道路では、LRT やカーフリーデーに関するパネル展示、ペロタクシーの試乗やおもしろ自転車の展示・試乗、自転車に関するおもしろクイズなどが行われました。また、福井鉄道、えちぜん鉄道の休日フリーパスを半額とし、当日は販売実績が通常の 4 割増になったようです。(半額分は、ROBA の会が負担しました)



LRT に関するパネル展



おもしろクイズの様子



ペロタクシーの試乗

チラシ・写真提供：NPO ふくい路面電車とまちづくりの会

主催：なはカーフリーデー実行委員会  
(行政 + 市民団体共催)

那覇市

今年初めて那覇市（都市計画課交通政策担当が主体）と地元 NPO しまづくりネットが共催して実行委員会を組織し、ヨーロッパモビリティウィークに参加しました。「誰もが移動しやすい街をつくる」ことを政策の一つとして取り上げている那覇市は、公共交通や自転車、徒歩での移動のしやすさを促進し、カーフリーデーの実施と拡充も交通政策の一つに掲げています(21 年策定予定)。

9月22日は、那覇市長によるカーフリー宣言をかわきりに、国際通り沿いのテンプス前広場を主に、まちなかウォークやヨーロッパの都市交通施策のパネル展示・ビデオ上映による紹介、ノンステップバスの展示、バスプランの作成支援やシンポジウムが開催されました。23 日日曜には、休日対象に恒常化した国際通りのトランジットモール（2007 年 2 月開始）にもより、たくさんの人々がカーフリーデーイベントに訪れました。



那覇市長によるカーフリーデー宣言



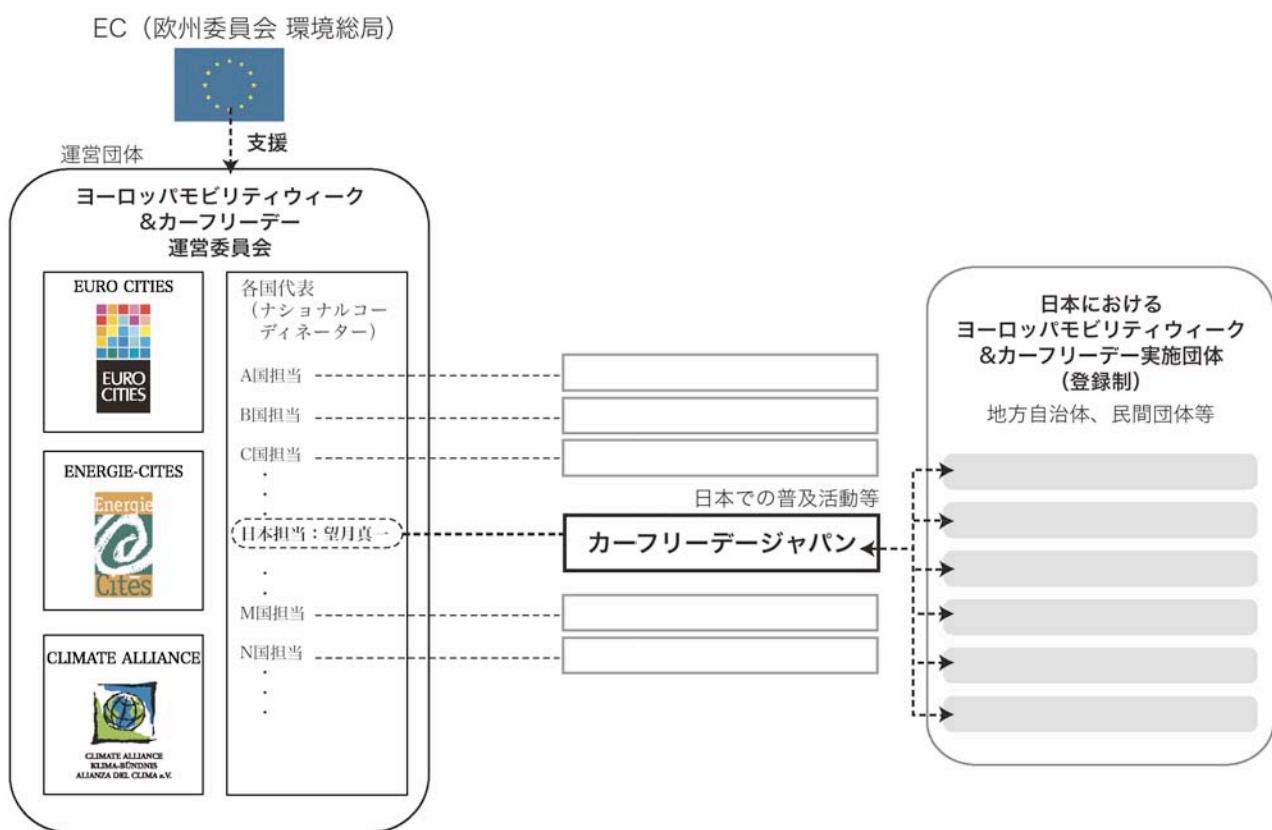
国際通りトランジットモール



カーフリーデーシンポジウムの開催

写真提供：なはカーフリーデー実行委員会

## 【ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーの枠組み】



## 【ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーの実施目的】

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーは、環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に人を中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというものです。

持続可能な都市交通に向けたプロジェクトであり、単なるイベントの実施でもなければ、社会実験でもありません。

車優先社会から、公共交通や自転車を中心とした歩行者中心の暮らしづくりをめざし、より多くの人に、車のあり方について考えてもらいます。その上で、各都市がめざすまちづくりに向けての、新しい施策を開始する機会となるのです。

### 社会啓発

- ・車と地球環境問題
- ・車と都市交通
- ・車と都市文化
- ・カーフリー空間の体験

を考える

### 新しい施策の開始

- ・市民への周知
- ・新しいシステムの紹介
- ・新施策のスタート

の機会とする

